



宝塚さざんか福祉会 法人理念

法人は、利用者一人ひとりの想いを大切にし、これを共有し、その想いが実現できるよう支援します。
 職員は、職業人としての自覚を持ち、自ら資質の向上を図り、豊かな人間性の醸成に努めます。
 法人は、地域と共に暮らし、地域と共に活動して地域のコミュニティ発展に寄与します。



表紙写真提供：くらしサポートオフィス安倉

Contents

理事長挨拶	2P
子ども見学会	2・3P
新しい支援グループ体制への取り組み	4P
被災訓練(いきいき宝夢)	5P
各事業所行事紹介	6・7P
職員紹介・後援会ニュース	8P



新年のご挨拶



新年あけましておめでとうございます。

日頃より法人運営にあたりましては、温かいご支援とご協力をいただき心より感謝申し上げます。

新たに迎える年度では、「第3期行動計画」への取り組みが始まります。施設老朽化への対応は単なる建替えではなく、今後の法人事業の在り方や方向性を見つめる大切な機会ととらえております。今後、一定の周期で繰り返し取り組む必要があるため、財源確保等については引き続き努力してまいります。経営状況等の変動や建設費の高騰、公的な助成等にも限りがあり、計画を推進するためには皆様のご理解、ご協力を賜りたく、継続して法人を応援いただきますようお願い申し上げます。

法人理念を基に主体的な運営を本年も誠実に進めてまいりたいと存じます。

結びにあたり、皆様のご多幸をお祈り申し上げるとともに、本年も変わらぬご支援、ご協力を重ねてお願い申し上げます。

令和7年元旦
理事長
今西 則行

初企画 さざんか福祉会で「子ども見学会」を実施しました♪

お父さん・お母さん・おばあちゃんがどんな仕事をしているのかな。福祉の仕事の楽しさをお子さんたちと分か合いたい。そんな気持ちでお子さんが働く親の職場を見学する企画をしました。

参加してくれたご家族は11家族で、お子さんは18人。沢山のご参加本当に有難うございました。

お子さんに家族の働く場所や姿を知ってもらおう事、お子さんが楽しみながら「しごと」の体験をして、利用者さんと「みんな一緒」に過ごす時間。お子さんたちの目と心にはお父さん・お母さん・おばあちゃんが働く姿がどう映ったのでしょうか。

その内容を写真と一緒にご紹介します。是非、ご覧ください。



予定

- 9:30 子どもと一緒に出勤
- 10:00 オリエンテーション・自己紹介
子ども用名刺配布と名刺交換の練習
- 10:30 見学・作業体験
- 12:00 給食タイム・お昼休み
- 13:30 モノづくり体験
- 14:30 父母への手紙を書いて、おやつ
- 15:00 見学会修了証の授与
終了・解散

オリエンテーション

自己紹介をしてから、お子さん用の名刺を準備して、名刺交換の練習などをみんなで行いました。



見学・作業体験

職場の見学と作業体験をしました。利用者さんが日々取り組んでいる作業を体験しました。



給食

給食の時間。みんなで美味しい時間♪



モノづくり

スタンドグラスの万華鏡、さをり織のコースター、さをり織で飾ったフォトフレームの中から好きなものを選んで作りました



手紙を書いてみよう

見学をした感想や、父母へのお手紙を皆で書きました。



修了証のお渡し

見学を全行程修了されたお子さんに、修了証をお渡ししました。



お子さんが、お父さん・お母さん・おばあちゃんの職場を見学する「子ども見学会」の初企画が終わりました。

最初は、お子さんも緊張されていましたが、場所にも人にも少しずつ馴染んでいられるお子さんの姿を間近で見ることができました。

お子さんからの「来年も来たい」、「将来なりたい仕事に福祉の仕事が入った」という声もあって、思いがけない感動がありました。

利用者さんの懸命な姿、ユニークで個性的な一面（一面どころでおさまりません）とまだまだ、沢山の魅力がある場所です。

来年も企画しますので、また、お子さんたちぜひ来てくださいね。楽しみにお待ちしております。

(運営・企画部 企画部長 山下 知一)

さいごに

見学に来てもらって、有難うございました



新しい支援グループくらしサポートオフィス安倉がスタートしました

くらしサポートオフィス安倉
所長 松永 仁美

令和6年4月から新しい支援グループとして、17か所あったグループホームの内、4か所を宝塚さざんかの家が運営する一体的運営に移行し、くらしサポートオフィス安倉がスタートしました。「利用者一人ひとりに深く寄り添った、24時間の支援体制を限られた人的資源の中で、持続可能な仕組みを構築する」と目的を掲げ、取り組みを進めています。

宝塚さざんかの家が中心となって一体運営を行っておりますが、宝塚さざんかの家だけでなく、宝塚あしたば園、宝塚けやきの里、宝塚くるみの里の安倉地区の4事業所が連携を行い利用者の24時間365日の生活を一緒に支えています。

4事業所で支えていく事で、利用者の日中の生活、夜間の生活とより連携を取り支援を行う事が出来るようになりました。

新しい支援グループという事で、最初は利用者、ご家族も不安が多々あったかと思えます。しかし、その様な中でも、皆さまのご理解やご協力、温かいお言葉のおかげで運営を行う事が出来ています。皆さまには感謝しかありません。

職員も多かれ少なかれ不安もありましたが、その様な中でも、「3番目のレンガ職人の思いで、楽しんでいこう!」を合言葉に志を持って運営をおこなってきました。

今後も、職員が志を持って、「楽しむ!」事を大切に、利用者の安心、安全、そしてドキドキワクワクの気持ちを忘れず、くらしサポートオフィス安倉の運営を全員で行っていきたく思います。これからも、よろしくお願いいたします。

～イソップ寓話の「3人のレンガ職人の話」はこんなストーリー～

『昔ある所に、一人の旅人がいました。旅人が街を歩いていると、汗を流しながら、重たいレンガを運んでは積み、運んでは積みを繰り返している3人のレンガ職人に出会いました。』

旅人は「何をしているのですか?」と尋ねました。すると、3人のレンガ職人は次のように答えました。

1人目は、「そんなこと見ればわかるだろう。親方の命令で **レンガを積んでいる**んだよ。暑くて大変だからもういい加減懲り懲りだよ」と答えました。

2人目は「レンガを積んで**壁を作っている**んだ。この仕事は大変だけど、お給料がいいからやっているのさ」と答えました。

3人目は「レンガを積んで、**後世に残る大聖堂を造っている**んだ。こんな仕事につけてとても光栄だよ」と答えました。』



非常災害への備えとして



いきいき宝夢
所長 谷口 篤

いきいき宝夢では利用者の生活を24時間365日支える入所施設として、非常災害対策に備え、日頃から様々な準備や訓練等を行っております。今回、7月に実施した被災対応訓練についてご報告させていただきます。

この訓練では次の通り被災の想定と内容で訓練を実施しました。

被災想定

平日、事務所職員が出勤した直後に強い地震が発生し、電気・水道・ガスのライフラインが止まる。幸い建物は無事な様子のため、避難移動は行わず、いきいき宝夢内で復旧を待つこととなる。厨房が使用できず厨房職員も出勤が困難なため、備蓄食品を使用し昼食の提供も行わなければならない。

訓練内容

地震発生により電気・水道・ガスが止まった状態を想定して、いきいき宝夢内で利用者支援を行う。併せて、1階ホールで備蓄食品を使用し緊急時食事提供訓練も行う。

非常災害対策委員会のメンバーを中心に企画し、準備段階から多くの職員を巻き込んで当日に臨みました。電気・水道・ガスのライフラインが止まることで誰しもが困惑します。利用者においては強い不安感を抱く方もおられます。私たちはそれらの状況下で安全確保は勿論ですが、利用者にとどのようにしてわかりやすく伝え、納得し、安心していただけるかが問われているのだと実感しました。

ライフラインが止まった利用者の暮らしの場で、入浴、排泄、食事場面を中心にいかにして安全に安心してご利用していただけるかを、当事者と一緒に考えました。とりわけ入浴と排泄場面においてはプライバシーの確保が大切です。更には食事場面も含め、衛生面への配慮も欠かせません。

今回の訓練は初の試みであり、施設内だけでなく地域との連携や協力を含めた課題も山積しておりますが、利用者が安心安全に、そして豊かな生活を実現するために、これからも尽力して参ります。



▲1階職員事務所にて災害対策本部を設置。



▲フロアスタッフルームにて暗がりの中、灯をともし事務処理をする様子。



▲利用者の救護に当たる様子



▲ポータブルトイレの設置と使用



▲備蓄倉庫から備蓄食品を取り出す様子。



▲1階ホールにて食事提供準備をする様子。



各事業所の様子

4月～10月

かしの木工房こはま

- ・かき氷大会
- ・ゴスペルコンサート



宝塚くるみの里

- ・七夕祭り



宝塚あしたば園

- ・かき氷大会
- ・日帰り旅行



さざんかグループホーム

- ・花火大会
- ・長尾祭り
- ・夏祭り



いきいき宝夢

- ・夏祭り
- ・日帰り旅行



宝塚けやきの里

- ・夏祭り
- ・日帰り旅行



ワークプラザ宝塚

- ・日帰り旅行





ときめき

—宝塚さざんか福社会後援会ニュース

2025.1.1

募集

皆様のご支援よろしくお願ひ申し上げます

会費 一口 1,000円 (おひとり様何口でもご支援よろしくお願ひいたします)

振込で

ゆうちょ銀行 (振込手数料はご負担ください)

口座番号 01160-0-4373

加入者名 宝塚さざんか福社会後援会

現金で

後援会事務局まで



前回7月発行のSasanQua通信 vol.10 11ページ2023年度(令和5年度)決算の期間が正しくは令和5年1月1日~令和5年12月31日でした。訂正してお詫び申し上げます。

宝塚さざんか福社会後援会事務局 宝塚市安倉西3丁目1番5号 (0797-83-6544)

